

第16回画像センシングシンポジウム (SSII2010)
インタラクティブ&ショートオーラルセッション フルレンクス原稿執筆要綱
SSII2010 Interactive & Short-Oral Session Authors' Guidelines
for Full-Length Manuscripts

著者 1 † 著者 2 ‡ ...

Author Name1†, Author Name2‡, ...

†所属 1 ‡所属 2 ...

†Author Affiliation1, ‡Author Affiliation2, ...

E-mail: 代表者電子メールアドレス

Abstract

第16回画像センシングシンポジウムでは、前回に引き続き、電子版論文集と印刷版論文集の2種類の論文集を発行します。これは、主たる論文集である電子版論文集の内容充実を図りつつ、副本という位置づけの印刷版論文集を軽く持ち運びやすいものにするためです。このためインタラクティブ&ショートオーラルセッションの著者の皆様は、電子版論文集用カメラレディ原稿(フルレンクス原稿フォーマット)、および印刷版論文集用カメラレディ原稿(ダイジェスト原稿フォーマット)をご準備して頂くことになります。

この執筆要綱では、この電子版論文集用カメラレディ原稿をご執筆頂くための要領について説明致します。

1 概要

この執筆要綱ではフルレンクス原稿用フォーマットについて説明します。このフォーマットを利用させていただく原稿は以下のとおりです。

- インタラクティブ&ショートオーラルセッションの電子版論文集用カメラレディ原稿

2 注意点

- この執筆要綱と同様の文字配置や余白等の体裁で原稿を作成してください。特に、用紙サイズの設定(A4)と余白のサイズの設定(詳細は3節「原稿フォーマット」参照)が同じになるようにご注意ください。
- 原稿を提出される場合は、PDFファイルを電子ファイルアップロードページから提出してください。PDFファイルを作成される際には、すべてのフォ

ントを埋め込むようにしてください(Adobe Acrobatの場合、PDF設定で「高品質印刷」を選択してください)。

- フォントに問題がある場合や、解像度が高すぎる画像が貼り付けられている場合など、印刷や閲覧に不都合が生じる場合は、こちらで手を入れさせていただく場合があります。
- ヘッダーおよびフッターをこちらで付加いたしませんので、PDF文書にセキュリティー制限を加えないでください。
- 電子版論文集には原稿以外に動画像などの添付ファイルも含めることができます。

3 原稿フォーマット

- ページ数は2~8ページです。
- 使用言語は日本語または英語です。
- 用紙サイズはA4(210mm×297mm)です(Adobe Acrobatのデフォルト用紙サイズはLetterなので注意してください)。
- 余白は、1ページ目の上部のみ30mmとし、それ以外(1ページ目の左右と下、2ページ目以降の上下左右)の余白は、20mmとしてください。つまり、印刷領域は幅170mm、高さ247mm(1ページ目)、高さ257mm(2ページ目以降)としてください。
- ページ番号は付け不要です。
- タイトルブロックは1段組で、上から順に、和文題目、英文題目、和文著者名、英文著者名、和文所属、英文所属、代表者電子メールアドレスを書いてください。ただし、本文が英語の場合はすべて英文のみで構いません。
- 本文は和文アブストラクトから始めてください。本文が英語の場合もアブストラクトだけは日本語で

書いてください。

- アブストラクトを含む本文は2段組にしてください。
- 本文の文字サイズは10ptとしてください。
- カラー原稿も収録可能です。

4 添付ファイル

電子版論文集には、動画像や高解像度画像などの添付ファイルを以下の2通りの方法で含めることができます。

単独のファイルとして含める方法 論文のPDFファイルとは別に添付ファイルも論文集に含める方法です。論文のPDFファイルと同様に、各添付ファイルへのリンクが目次(htmlファイル)から張られます。この場合、添付ファイル名は著者が自由につけることができますので、論文中でファイル名を示すことができます。さらに、論文のPDFファイルと添付ファイルは同じフォルダに格納されますので、論文のPDFファイルからリンクを張ることもできます。

添付ファイルは(たとえ一つしかファイルがなかったとしても)ZIPで圧縮して提出してください。

PDFファイル内の添付ファイルとして含める方法 最近のPDFには、それ自身に添付ファイルを含めることができます。この機能を利用して、論文のPDFファイルの中に添付ファイルを含める方法です。この場合も、添付ファイル名は著者が自由につけることができますので、論文中でファイル名を示すことができます。さらに、論文のPDFファイルがコピーされる場合に、添付ファイルも確実にコピーされることとなります。

5 ファイルサイズの制限

電子版論文集はCD-ROMで出版する予定です。このため、フルレンクス原稿のPDFファイルおよびすべての添付ファイルの合計サイズの上限を5MBとさせていただきます。サイズがそれ以上になる場合は事務局にご相談ください。

参考文献

- [1] SSII Web サイト <http://ssii.jp/>
- [2] SSII 事務局 info@ssii.jp